

1月21日は看護医療類型の課題研究発表会がありました。35名が8班に分かれ研究した内容を発表しました。1.2年生の看護



医療選択者も上級生の発表を見守りました。各班のテーマは、①小児がんについて②命の最前線③マタニティライフ④うつ病⑤行動心理学⑥食事の質を上げよう⑦認知症と物忘れ⑧ストレスとスポーツ/リハビリロボットです。各班は自分たちの将来就きたい仕事をイメージしながら伝えたいことを調べて発表していました。1.2年生から

の質問も鋭く、答えに苦しむ場面もありましたが、その部分も含めて調べたり、体験したりすることができ、今後の課題まで見つかるような発表ができればもっと良い発表になったかと思います。今年は新型コロナ感染防止の影響で、外部での調査がしにくい状況にありましたので、次年度以降、新型コロナが少し落ち着いたらそういったことも含め、研究を進めてほしいと感じました。ご指導いただいた先生方有難うございました。



1月22日は体育科の課題研究発表会です。こちらは40名が11班に分かれての発表です。テーマはそれぞれ①瞬発力を高めるための有効な手段はどれか②2か月間どの筋肉部位を鍛えようと投球速度・打球速度は速くなるか③P-Upをしたときとしない時で結果は変わるのか④体幹をすることでキック力は上がるのか⑤運動前の食事で

パフォーマンスにどう影響するのか⑥印象と競技人口の増減との関係⑦ルーティンの大切さ⑧一番変化のかかるサーブの速度、打ち方、軌道⑨アメとムチどちらを与えたら運動能力は伸びるのか⑩初心者が最短で成長するトレーニングは⑪歯と力の関係性です。日ごろの部活動やトレーニングの場面で疑問に感じたことをテーマにして、自分たちを被検者として実験、あるいは一般の生徒へのアンケートや他の部の協力を得た実験など、短い期間に良くまとめていたと思います。1.2年生にとってもヒントになることが多く盛り込まれ、参考になったのではないのでしょうか。とにかく考える習慣は大切です。体の動き一つとってみてもうまくいかない時に違った視点で動きを見直すことは大切になってきますからそういった意味においては部活動を越えたつながりの中でヒントをもらい、動きに還元していくことができるでしょう。中には指導者を目指す人もいるでしょうからそういった時の引き出しづくりに課題研究はもってこいです。発表準備等大変だったと思いますが3年生の皆さんお疲れ様でした。ご指導いただいた先生方有難うございました。

その後、東雲寮で退寮式が行われ、寮の新役員の紹介と3年藤本寮長の挨拶がありました。涙ながらに同級生や調理員、先生方への感謝の気持ちを述べ、1.2年生には力強い激励をしてくれました。最後は恒例の調理員、林実習教員への感謝のプレゼントを手渡し、終了。翌23日に保護者の方が迎えに来られ、退寮を完了することになります。新型コロナウイルスの影響で大変な1年でしたが、大きな問題もなく教育活動が行えたのは、多くの方々の協力と彼らの頑張りがあったおかげだと思います。本当にありがとうございました。卒業式までの間各自で次のステージに向けた準備を進めてください。



1月23日はやしろ国際学習塾 L.O.C ホールをお借りして、3科合同課題研究発表会を開催しました。入念なりハーサルののち(ア)、私の挨拶で開会。生徒会3年生による学校紹介(イ)では九州豪雨募金や支援物品発送などの活動報告と現在製作中の加東市15周年記念のモザイクアートに



関わる取組報告をしました。その後の発表は、まず看護医療類型2班(上記③と⑤)です。マタニティライフでは産前産後の休暇を含めた妊産婦の大変な状況理解と支えることの大切さをしっかりとPR。行動心理学では、先生方の行動を見ながら実際の心の状態との関連から観察力を高め、理解することの大切さを訴えました。

続いては1年生の総合的な探究の時間に取り組んだ加東市への提案をまとめた発表です。今年から、地方創生に係る加東市の現状把握と課題克服に向けた提案を高校生の視点で考えることにしました。提案内容はやしろショッピングパークBioを拠点とした商業流通に関することやバスターミナル整備に係ること等現在進行中のものも含めた内容でした。いずれも費用面や施設面での課題が残りましたが自分たちで地域のことを考えることが大切で、今回の発表が総合的な探究の時間の取組の定着につながることを期待しています(オ)。体育科からは上記①の瞬発力を高めるための有効な手段はどれかについての発表です(カ)。立幅跳の記録から瞬発力の伸びが、筋力トレーニング、サプリメント、立幅跳の練習、何もしないの4つの内容で取り組み、結果を考察。卒業後の研究にも結び付く内容だったように思います。

生活科学科からは3つの班による発表です。「①コロナ禍における食育活動、②360万人の観光客を加東市へ③A challenge in KATO

～もち麦で革命を」です。①食育活動は実際に福田小学校に行き小高連携事業での経験や加東市給食センターの方との連携で給食内容を考え、給食について小中学生に考えてもらうことを通して学んだことの発表でした。②③は地方創生班が近畿経済産業局長賞を受賞した内容で、②は観光客誘致に必要なこと③は地産地消のもち麦にこだわった今後の農産物の活用方法と広め方について踏み込んだ内容を展開。ともに加東市にとっては、今後の発展に不可欠な内容ですし、今後も継続して研究していく必要があると思っています。今回の会場をお借りできたのも加東市観光協会の支援のおかげです。今後も加東市唯一の高等学校として地域発展に貢献していきたいものです。

以上が3学科合同研究発表会の報告です。小学校、中学校、一般の方々への広報をもっとしたかったのですが、新型コロナ感染拡大が続いている状況でもあり、広い範囲での広報を避けました。しかしながら、発表会の内容については何かお配りできるものを作成できればと考えています。その際はよろしくお願いいたします。

24日には生活科学科3年生の卒業制作の商品販売が本校の玄関で行われました。本来ならばやしろショッピングパーク Bio でさせていただき予定でしたが、現在の状況を踏まえ校内での販売とさせていただき、広報もHPのみとしました。保護者の方々を中心にたくさんの方々にお越しいただけたと報告を聞きました。3年生にとっては今年1年、自分たちが思っていたような活動はできなかったかもわかりませんが、工夫することを中心に今できることに取り組んでくれたことは今後の活動に役立つものと思います。お疲れ様でした。

部活動では1月23日には柔道の新人近畿大会個人の部が県立武道館で行われました。体調不良者やけがもあり、出場は男子3名女子2名となりました。男子は60Kg級高橋選手、81Kg級菊川選手がともに3位、90Kg級神戸選手が5位、女子は48Kg級横山選手、57Kg級増田選手がともに3位に入りました。全国大会にはつながらない大会のためモチベーションという点で課題が残ったと顧問から聞きましたが、次週の団体戦に向けて今一度しっかりと調整してほしいものです。お疲れ様でした。サッカー部女子は県新人大会1回戦



に臨み、啓明高校に0-3で敗れました。男子は2回戦で西脇工業高校と対戦。東播大会の雪辱を果たせず1-2で敗戦。ともに悔しい結果となりました。県総体に向けて課題克服に努めて頑張ってください。

緊急事態宣言が出されて10日余りが過ぎましたが、目に見える形で新規感染者の減少が見られない中、今一度、生活様式の確認によりマスク着用や、人込みを避けることで密を避けること、食事のマナーの徹底、換気に努めるなど徹底していく必要があります。個人でできることは意識を高めて取り組まねば状況は良くなりません。新人大会を延期するとの連絡が入った運動部もあります。一人一人の取組が大事になってきますので、ご協力をお願いいたします。

※P-Upとは・・・生体に対する活性力が極めて高い電磁波のことで、この電磁波の処理を受けると体内の低下した機能を元に戻そうとする働きが期待でき、細胞が活性化され自然治癒力が高まるといわれている。